

東備西播定住自立圏域 J R 利用促進協議会 第 4 回総会 会議録

- 1 日 時 令和 7 年 3 月 2 6 日 (水) 1 4 : 0 0 ~ : 1 4 : 3 0
2 場 所 赤穂市役所 6 階 大会議室

3 出席者

(1) 会 員

牟禮	正稔	赤穂市長
梅田	修作	上郡町町長
西上	徳一	備前市議会議長
土遠	孝昌	赤穂市議会議長
澤田	正治	上郡町議会議長

オブザーバー

加藤	明	関西福祉大学
藤村	忠史	はくほう会医療専門学校 赤穂校校長
田中	薫	備前緑陽高等学校校長
大角	謙二	赤穂高等学校校長
村中	利章	上郡高等学校校長

(2) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：山内市長公室長、古谷企画政策課長、深澤企画係長、軀川主事
上郡町：木村企画広報課長、高永企画広報課副課長、玉石主事

4 会議の概要

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 出席者等紹介

(4) 報告事項

令和 6 年度事業報告について

(5) 協議事項

令和 7 年度事業計画（案）について

(6) その他

(7) 閉 会

5 議事の概要

山内幹事 定刻より少し早いですが、おそろいになりましたので、ただいまから東備西播定住自立圏域 J R 利用促進協議会第 4 回総会を開催いたします。
本日は年度末のお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。
私は、本日の司会進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の山内でございます

ます。どうぞ、よろしくお願いします。

傍聴希望については、特に申し出はありませんので、引き続き会議を進めていきたいと思います。

それでは、開会にあたりまして、会長であります牟禮赤穂市長よりごあいさつを申し上げます。

牟禮会長

皆様、改めまして、こんにちは。

本日は年度末で大変お忙しい中にもかかわらず、ご参集賜りまして誠にありがとうございます。

東備西播定住自立圏域ＪＲ利用促進協議会の活動につきましては、ご存知のとおり、備前市、上郡町、赤穂市でＪＲ西日本兵庫支社並びに岡山支社へ出向き、要望書を提出する等の活動を進めてまいりました。

一方で、１２月１日から播州赤穂駅のみどりの窓口の閉鎖、私が毎日利用しております坂越駅は無人化になる等、ＪＲさんでは色々と合理化が進められておりますが、圏域内の山陽本線及び赤穂線は多くの方が利用されておりますので、共生ビジョンを掲げておりますが、ＪＲの利便性が損なわれることがないように引き続き２市１町で取り組んでまいりたいと思います。

皆様方には、引き続きご支援・ご協力を賜りたいと思っております。

本日は、令和６年度事業報告と令和７年度事業計画（案）につきまして、ご協議をさせていただきたいと考えております。

ＪＲさんもコロナ禍で一定程度経済的に打撃を受けていらっしゃるものと推察いたしますけれども、最近インバウンドが増えておりますので、乗客数については増えているのではないかと思います。引き続き皆様方と力を合わせ、ＪＲの利用促進に努めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

本日は先ほど申したとおり、令和６年度事業報告及び令和７年度事業計画（案）についてご協議いただくこととなっております。どうか、忌憚のないご意見を頂戴し、妥当な結論になりますようお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

山内幹事長

次に、次第３ 出席者等紹介に移ります。

ご紹介は、配布しております配席表により、替えさせていただきます。

なお、本日別の公務のため吉村備前市長様、また所要のため備前市商工会議所の寺尾会頭様、オブザーバーとして備前緑陽高校の古城校長先生、上郡高校の武田校長先生より、欠席のご連絡をいただいておりますので、報告をいたします。

それでは、ここからの議事進行は、会長にお願いしたいと思います。牟礼会長お願いいたします。

牟礼会長

それでは、ここから議長を務めさせていただきます。

次第４ 報告事項に入ります。

（１）令和６年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局

まずお手元に配布しております資料を確認させていただきます。

本日の次第、裏に会員名簿、配席表、右上に資料番号をいれておりますが、『資料１－１ 令和６年度事業報告』、『資料１－２ 令和６年度活動実績一覧』、『資料２

令和7年度事業計画（案）、『参考1－1 JR西日本岡山支社長あて要望書の写し』、『参考1－2 兵庫支社長あて要望書の写し』、『参考2 JR利便性向上・利用促進事業予算（案）』、本日差し替えさせていただきましたが『参考3 JR駅別の乗車人数』、最後に『JR利用促進協議会規約』、『会議規程』、『フォトコンテスト2024募集要項』となっております。

それでは、資料1－1 東備西播定住自立圏域JR利用促進協議会令和6年度事業報告をいたします。

1. JR西日本への要望活動についてです。

（1）要望書の提出についてです。

こちらは令和3年から令和5年にかけて実施されました、山陽本線並びに赤穂線の減便に伴うダイヤ改正について、通学、通勤、通院などの面において、利便、利用者の利便性を低下させるだけでなく、住民生活を初め、経済活動において様々な制約を生じさせるため、朝夕の通勤通学時間帯におけるダイヤの確保や、旧ダイヤの復活などを要望いたしました。

また、駅員の人材確保等についても要望しております。

具体的に要望の日程ですけれども、アとして、令和6年11月28日に、岡山支社へ牟禮市長、吉村市長や梅田町長が直接岡山社長宛に要望書の提出を行っております。

次にイとして、兵庫支社への要望として、令和6年12月24日に牟禮市長、濱山備前市市長公室長、梅田町長に出向いていただき、要望活動を行っていただきました。

2. JR利用促進活動についてです

（1）啓発活動といたしまして、JRの利用促進を図るため、JRを利用した際の写真をInstagramで投稿してもらうフォトコンテストを開催いたしました。

また、JR赤穂線・山陽本線Instagramフォトコンテストのグランプリ、準グランプリの写真を起用した、利用促進のポスターを2市1町内の駅の庁舎や商業施設に掲出をしております。

具体的にフォトコンテストの内容につきましては、アに記載の通り、JR赤穂線・山陽本線での車内又は車窓及び駅構内からの風景を撮影したものを投稿していただきまして、グランプリ1点、準グランプリ3点、入選5点を選出しております。

募集は令和6年8月19日から令和6年10月31日までとなっております、投稿総数は115件でございました。

イとして、作品を展示する写真展を実施いたしました。展示作品は、先ほどのフォトコンテストのグランプリ、準グランプリ、入選の9点を展示いたしました。期間は令和7年2月5日から2月27日にプラット赤穂2階のギャラリースペースで展示を行いました。

次に（2）広報活動といたしまして、圏域内で開催するイベント情報を各市町の広報紙へ掲載いたしまして、イベント参加時にJRを利用してもらうよう呼びかけを行っております。

またJR赤穂線・山陽本線のInstagramフォトコンテストのグランプリ、準グランプリの写真を起用したポスターを掲出いたしております。

3. その他の活動といたしまして、担当者会議を2市1町の担当で4回行っております。

今ご説明した内容は、次の資料1－2の活動実績一覧に月ごとにまとめておりま

すので、ご確認いただければと思います。
報告事項につきまして説明は以上です。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。
ただ今の報告事項について、ご意見、ご質問等ありますか。

(特になし)

特にないようですので、令和6年度事業報告につきましては、了解ということに
させていただきたいと思います。

では、次第5 協議事項に入らせていただきます。

(1) 令和7年度事業計画(案)について、事務局から説明をお願いします。

事務局

続きまして資料2 令和7年度事業計画(案)をお願いいたします。

令和7年度も、昨年に引き続きフォトコンテストを開催してJR利用促進につな
げていきたいと考えております。

また、『かみごおり川まつり』や『ひなせみなとまつり』、『赤穂義士祭』など各市
町のイベントに市外・町外から電車を使って参加していただけるよう各市町の広報
紙等を通じてPRをしていくほか、引き続きJR西日本の兵庫支社と岡山支社への
要望活動を計画しております。

協議事項としてはこの計画(案)のみとなっておりますが、参考2をご覧ください。

こちらは、東備西播定住自立圏形成推進協議会のJR利便性向上・利用促進事業
の予算(案)です。本日、この後、東備西播定住自立圏形成推進協議会を予定して
おりまして、そちらでご審議いただく予算となります。先ほどの事業計画(案)を
実施するにあたり、主にフォトコンテストの開催経費となっておりますが、掲記の
とおりの予算を予定しておりますので、ご確認いただければと思います。

次に、本日お配りいたしました参考3をご覧ください。

こちらは、令和5年度のJR駅別1日当たりの乗車人数です。

本日、兵庫県内の人数が公表されておりましたので、掲載いたしました。岡山県
の数値はまだ公表されておきませんので、掲載できておりません。

ご覧のとおり、令和元年までの圏域合計は約1万1千人台で推移しておりましたが、
新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった令和2年度、令和3年度は8千
人台半ばと大きく落ち込みました。

令和4年度は行動制限が少し緩和され、乗車人数は改善したものの、依然として
コロナ禍以前の数字には戻っていないという状況です。

なお、こちらの数値は、それぞれ岡山県の統計年報、兵庫県の統計書から転記し
ているものです。

協議事項の説明は以上です。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。
ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありますか。

参考3の資料について説明がありましたが、兵庫県の結果は、公表されたという
ことですか。

事務局 はい。兵庫県の統計書が本日公表されましたので、掲載させていただきました。

牟禮会長 岡山県の結果は、いつ頃掲載されますか。

事務局 去年は29日でしたので、もうしばらくすると公表されると思われます。

牟禮会長 分かりました。
乗車人数は徐々に回復してきており、令和5年度は赤穂線も山陽本線も回復してきています。JR西日本は、このようなデータは教えてくれないのですか。

事務局 兵庫県を通じて我々は把握しているのみになっております。

牟禮会長 なぜこのようなことを聞くかと言いますと、要望会に行くと、現状の報告の中で良くない数字は出てきますが、良い数字の方はなかなか出てきません。
そういう意味では、対抗する意味でも、令和6年の伸び具合等をきちんと把握できるようJRさんをお願いをしていきたいと思います。

事務局 乗車人数については、県を通じてという形ですが、JRは乗車密度を重視してきているところがございます。乗車密度については、JR自身の情報ということで、区間を細かく区切って、例えば、播州赤穂駅・相生駅間、或いは播州赤穂駅・長船駅間といったような形での乗車密度、これがいわゆる2,000人を超えているかどうかの議論をJRは中心にしております。
これにつきましてもJRは公式に公表もしておりますので、その辺につきましても、入手し、きちんと把握はして参りたいと思います。
また、それぞれの駅の乗車につきましても、できるだけ早く入手するようにしたいと考えております。

牟禮会長 ありがとうございます。
県を通じた公式な統計はこれで仕方がないかとは思いますが、しかし、我々が戦略を立てていく上では、JR西日本の兵庫支社や岡山支社へ要望活動に行ったとき、それなりのデータが出ていると思いますので、リアルタイムの情報を共有させていただいて、JRさんをお願いすべきところはお願いしながら、現状を把握しておくべきだと思います。
世の中が変わってきているのに、コロナ禍前の数字で議論するのはいささかどうなのかと思いますので、JRさんの方からもらった資料もつけていただければ、参考になると思います。よろしくお願いします。

事務局 分かりました。

牟禮会長 他にありませんか。

(特になし)

他にないようでしたら、令和7年度事業計画（案）について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（異議なし）

異議なしということですので、令和7年度におきましても、引き続きこの計画に基づきまして、J Rの利用促進に係る活動を進めさせていただきます。

引き続き、皆様のご協力のもと、事業を展開していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

つづきまして、次第6 その他ですが、この際ですので皆様からその他にご意見やご質問などございませんか。

藤村委員

会議の次第に沿っているか分かりませんが、2月に日生の牡蠣祭が行われていると思います。赤穂市については、今後の実施予定はないということですか。坂越の牡蠣はとても有名で、個人的には人を集める機会だと思いますが。

事務局

坂越の牡蠣は、ブランド牡蠣ということもあり、市のふるさと納税の返礼品としても非常に人気が高くなっております。

しかし、養殖をするにも数に限りがあり、大々的に牡蠣祭という形では難しいことから、近年は赤穂市での開催はしておりませんが、近隣市町では開催しておりますので、担当課からは、生産者側と協議していくと伺っております。

牟禮会長

赤穂市での牡蠣祭が開催されたのは、令和2年の冬が最後です。

その後、コロナ禍であったため開催できませんでした。

赤穂漁業協同組合が主催をしており、そこに市が補助金を出していましたが、コロナの影響や、繁忙期で非常に忙しい時期であることから、漁協としては開催が困難であるということで、赤穂市の牡蠣祭りが開催できていないという現状です。

現在、牡蠣祭を開催されているのは、たつの市、相生市、備前市の日生祭です。今年も日生牡蠣祭に参加させていただきました。

赤穂市では、県立の海浜公園で開催するので、生産地から離れています。そのため、漁業協同組合には負担になっているのは事実ですので、赤穂市内で実施する場合は、1つは、J Rを利用する点に重点を置くなど、規模はあまり大きくはできないのではないかと思います。その辺を含めて勘案するよう担当課には話をしています。

冬のイベントと言えば、牡蠣祭りが1つの集客力のあるイベントだと思いますので、J Rの利用促進を図るという意味でも有効かと思います。予算化はされておりますが、観光課等を中心として、計画してほしいと話をしています。

コロナで中止になったこと、漁業協同組合としては繁忙期であること、また、人材不足が原因です。他市でも同じような現状で、相生市は、漁業協同組合が開催しているのでなく、他の方々が実行しているようです。現在、赤穂でできることを考えています。

藤村委員

ありがとうございます。

もう1点、要望書を提出した際の支社長の雰囲気はいかがでしたか。

事務局

要望会は、市町長の方々から直接要望書をお渡しし、内容のご説明をさせていただくという場となっております。

J Rさんには、いろんなお考えがある中で、要望について丁寧にご回答をいただいている状況でございます。

昨今の状況やJ Rさんの取り巻く環境についてご説明していただきながら、今後公共交通のあり方や各自治体としてのあり方をご提案いただくなど、要望を受け入れないといったような雰囲気ではありません。

今後のあり方についての建設的な要望会となっております。

藤村委員

東方面への交通の便が悪いと生徒や先生方から聞いています。特に通学時間帯だけでも現状維持していただければと思います。

牟禮会長

事務局から説明もありましたが、赤穂線に関しては昼間の時間帯では姫路で乗り換えることになります。同じ本数であれば乗り換え不要な新快速にさせていただきたいと要望をしておりますが、乗客数だけでなく乗客密度の関係もあるので、なかなか受け入れていただけないような状況です。

J R西日本管内でも廃線の話等もありますので、兵庫県、岡山県とも連携を図り、赤穂線と山陽本線の利便性向上について、今後とも強く働きかけをしていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

魚住委員

相生産業高校です。いつもお世話になり、ありがとうございます。

この場での発言が適切かわかりませんが、現状のご報告をいたします。

本校の生徒の通学手段は、J Rの利用が8割となっております。その中で、本数も限られ、車両数も少ない関係で、電車内は本校を含め赤穂線沿線の学生で込み合っている状況です。そのため学年別に乗る電車を分けて通学するよう言っています。

J Rを使用する学生が多い現状で、西相生駅のプラットホームは終日無人のため、本校の生徒指導の職員が勤務時間を変更して、西相生駅のプラットホームに立って指導している状況です。駅の事務室には時間帯によっては職員がいらっしゃいますが、事故が予想される通学の時間帯は無人です。

学校としては何か起こってからでは遅いので、そのような対応をしております。

おそらく、他の無人駅でも同じような状況だと思われますので、駅員さんでなくてもいいので、駅に人員を配置していただければ安心安全な通学になると思います。

牟禮会長

貴重なご意見を頂戴いたしました。今のお話は、初めてお伺いしました。

赤穂線においても無人駅化が始まっております。そういった意味では、本当にそれでいいのかと日々感じておりますが、学校の先生方がそのようなご配慮をされているということをきちんと要望会で伝えていきたいと思っております。

目木委員

次年度までは考えなくてもいいと思いますが、各地でJ Rの廃線になりそうな自治体がJ Rの株式を購入するという動きが出ています。

それが果たしてJ Rに対して有効なのか事務局としてよく観察をしていただき、効果があるとなれば、この後、1年、2年先ぐらいに検討することを考え、詳しく調査していただければと思います。

- 事務局 数年前からそのような動きがあると思いますが、自治体株主ということでＪＲの株を取得し、地方路線の存続への連携ということで、真庭市さんが約１億円取得されていると情報としては手に入れております。
- このような活動が、どこまで効果的であるかという問題や、また私どものような自治体が取得するのか、県が取得するのか等もあるかと思いますので、株主について調査研究してまいりたいと思います。
- 牟禮会長 他にないようでしたら、事務局お願いします。
- 事務局 この総会の後、第３５回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたしますので、各市町の市町長様、議長様におかれましては、引き続きご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。
- 牟禮会長 それでは、他にないようですので東備西播定住自立圏域ＪＲ利用促進協議会 第４回総会を閉会いたします。
- 本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございました。
- 事務局 第３５回東備西播定住自立圏形成推進協議会ですが、１５時を予定しておりましたが、開始を１４時５０分にさせていただきたいと思いますので、引き続きご出席させる方におかれましては、よろしくお願いいたします。
- 以上です。